

うだし 社協だより

No.120

令和8年1月1日

社会福祉法人
宇陀市社会福祉協議会



いきいきサロンボランティア養成講座を開催しました



宇陀市社会福祉協議会では、年7回、いきいきサロンのボランティアを対象とした養成講座を開催しています。

11月12日（水）に開催した講座では、令和8年に向け、「はりこのうま」を作成しました。毎年11月の講座では干支飾りづくりを行っており、皆さんが楽しみにしている講座となっています。

「いきいきサロン」に興味・関心のある方は、宇陀市社会福祉協議会までご連絡ください。

主な 内容

- P2 新年のご挨拶
- P3 生活支援サポーター養成講座 参加者募集
会計年度任用職員の登録受付
- P4 地域のお宝発見
移動・外出支援ボランティア養成講座
家族介護教室
- P5 宇陀市ボランティア連絡協議会 研修会
なんでも相談会inうだ
- P6 赤い羽根共同募金 重点助成分野特別助成先決定
赤い羽根自販機で社会貢献活動をはじめませんか
- P7 赤い羽根共同募金 中間報告
- P8 相談日のお知らせ／リサイクル情報
善意銀行／ほっとひといき



 この社協だよりは、赤い羽根共同募金の助成を受けて作成しています。



令和8年 新年のご挨拶

社会福祉法人 宇陀市社会福祉協議会 会長 **金 剛 一 智**



新年 明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、健やかで穏やかな新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、平素より社会福祉協議会の活動にご協力並びにご支援を賜わり、心よりお礼申し上げます。

近年全国的な少子高齢化の急速な進展、物価高騰を背景として、孤独・孤立や生活困窮といった地域生活課題が深刻化する中、「地域福祉の推進を図る」ことを使命とする社会福祉協議会の真価が大きく問われようとしています。

宇陀市社会福祉協議会では、市民の皆様が安心して暮らすことができる福祉のまちづくりの推進の一環で、令和7年度の新規事業として、「ひとり親家庭へのフードドライブ事業」や「子ども食堂へのお米支援事業」を開始しております。

今後、新たな生活課題に対して、地域住民による小地域活動を支援するとともに、大規模な自然災害が発生した場合の備えとして行っております「災害ボランティア訓練」を継続して行っていきます。また、行政の支援に加えて、地域の助け合い活動を今以上に強化してまいります。

「やさしさと、ぬくもりが一人ひとりを包む地域」をめざして、役職員一同、さらなる努力を続けて参りますので、一層のご支援・ご協力を心からお願い申し上げますと共に、皆様方にとりまして、この一年が幸多き年になりますように心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



宇陀市共同募金委員会 会長 **井 上 清 利**



新年 明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、心健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃から赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金に、別格のご理解・ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、赤い羽根共同募金は、「じぶんの町をよくするしくみ」として、支援を必要とする方々のために活動している団体や福祉活動を応援するものです。皆様からご寄付いただいた募金は、主には、宇陀市で活動するボランティア団体への助成や緊急食糧支援等の地域福祉事業として活用させていただきます。

毎年10月には、民生児童委員さんはじめ、ボランティア団体の方々、自治会の皆様に協力いただき「赤い羽根共同募金運動」を実施していますが、令和7年10月には、奈良県立宇陀高等学校の生徒の皆さんにも街頭での募金を呼び掛けていただきました。この様に若い方々が、この活動に参加いただく事で、助け合いの『芽』がさらに継承されていくものと実感しているところです。

宇陀市共同募金委員会では、これまで以上に関係機関団体の皆様と連携し、皆様のご期待に応えられるよう運動を展開してまいりたいと存じます。皆様の善意が地域福祉の推進に生かされるよう、ご支援・ご協力を賜わりますようお願い申し上げますとともに、皆様にとって、この一年が健康で幸多き一年になりますよう祈念し、新年のご挨拶といたします。

生活支援サポーター養成講座 参加者募集

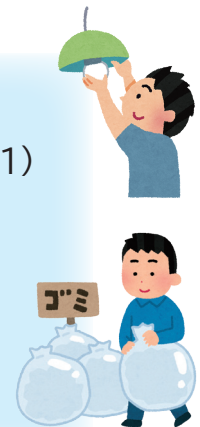
地域で支え合い活動の担い手となる生活支援サポーター（住居等の掃除やゴミ出し、電球交換などをサポートする人）を養成し、地域による支え合い・助け合いの関係づくりを広げていくための講座を開催します。

今回は、名張市で地域の支え合い活動に取り組む「^{なばり}隠おたがいさん」のメンバーを講師にお迎えします。活動の様子や活動を始めようと思ったきっかけ、地域との関わり、住民同士のつながりを育む大切さについてお話しいたします。

「地域で何か始めたい」「自分にもできることを見つけたい」という方なら、どなたでもご参加いただけます。身近な支え合いの取り組みを通して、住民が互いに助け合える地域づくりを一緒に進めていきましょう。



- ◇開催日 令和8年2月6日(金) 午後1時30分～4時00分
- ◇開催場所 宇陀市榛原総合センター(宇陀市榛原萩原2610-1)
- ◇対象者 宇陀市在住の方
- ◇定員 先着20名
- ◇参加費 無料
- ◇申込期日 令和8年1月26日(月)
- ◇申込先 宇陀市社会福祉協議会 電話:0745-84-4116



宇陀市社会福祉協議会 会計年度任用職員（臨時職員）の登録受付

宇陀市社会福祉協議会では、会計年度任用職員（臨時職員）として働くことを希望される人に、あらかじめ希望する職種や勤務時間及び曜日などを登録していただくものです。

条件に合う方を選考し、面接審査などを経て決定します。

【注意】※この登録とは別に、ホームページ、ハローワークなどを通じて募集することがあります。

※登録した場合でも必ず採用されるとは限りませんので、あらかじめご了承ください。

◆ 登録募集職種	①事務職（社会福祉協議会の業務全般） ②保育士（児童発達支援事業所にじいろこあら療育） ③家計改善支援員（生活困窮者に対する相談支援業務）
◆ 登録方法	◇登録申請書は、宇陀市社会福祉協議会窓口またはホームページからダウンロードすることもできます。 ◇詳しくは、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。
◆ 登録から採用までの流れ	⑦登録申請書を宇陀市社会福祉協議会へ提出（登録） ⑧登録された人の中から条件に一致する人を抽出し、試験の候補者を決定 ⑨面接試験を実施し、合格となれば採用
◆ 申込先 (お問い合わせ先)	宇陀市社会福祉協議会 〒633-2221 宇陀市菟田野松井486番地の1 菟田野地域事務所内 3階 電話：0745-84-4116 IP電話：0745-88-9202

地域のお宝発見⑧

室生西谷地区では、約10年前から有線放送を活用した朝のラジオ体操が始められ、体操後に、各家庭に導入されているトランシーバーを使い、順番に挨拶を交わす取り組みが続けられています。これは、ご近所同士で支え合う地域防災の一環として始められた活動です。当初始められたきっかけは、災害時にスムーズにトランシーバーを使えるよう、日常的に使い慣れておくことでした。しかし現在では、見守りとしての役割も担うようになっていきます。

はじめは「面倒だからやめておこう」という声もありましたが、今では、呼びかけに応答がなかったり、話し方がいつもと違ったりする場合には、近所の人々が駆け付け、様子を見に行くといった関係が築かれています。

また、当番制で「今朝の一言」を話す役割があり、それを楽しみにしている方も多いそうです。さらに、日中には「猿が出た」「不審な車がいる」といった地域の情報共有にも活用されており、日常の安心にもつながっています。

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、地域の絆を強める工夫を取り入れた活動となっています。



活動報告1

移動・外出支援ボランティア養成講座

9月25日(木)、宇陀市農林会館にて、関西STS（スペシャル・トランスポート・サービス）連絡会の柿久保浩次さんを講師にお迎えし、「住民がつくる地域支え合いの移動・外出支援ボランティア養成講座」を開催しました。

第1部では、買い物やお出かけなど、日常生活の中での移動支援のあり方について学び、住み慣れた地域で助け合う大切さを再確認しました。第2部では、移動サービスボランティアとしての送迎に必要な心構えや、安全運転のポイント、マナー、そしてリスクへの備えについて、講義と運転実技を交えて理解を深めました。

参加者からは、「支援に向けた取り組みに挑戦していきたい」といった声が寄せられました。今回の講座をきっかけに、移動・外出支援をはじめとする地域の助け合い活動が、今後さらに広がっていくことを期待しています。



活動報告2

家族介護教室

10月24日(金)より3回にわたり、さんとぴあ榛原にて、「家族介護教室」を開催しました。

第1回目はACP(人生会議)自分らしい最期の考え方、エンディングノートの書き方についての講義、第2回目は車いすの操作などの福祉用具の体験や高齢者の疑似体験を通して、介助される側の理解を深めました。



最終回では、身体に負担の少ない介護方法、排泄ケアなどの実技に加え、在宅介護経験者からの貴重なメッセージもあり、参加者の皆様は熱心に耳を傾け、大変有意義な教室でした。

宇陀市ボランティア連絡協議会 研修会

活動報告 3



11月11日（火）、宇陀市農林会館にて、市内で活動しているボランティア団体を対象に研修会が開催されました。

当日は、健康運動指導士の井上明美さんをお迎えし、「ボランティア活動を永く続けるために」をテーマに講話と実技を行っていただきました。ボランティア活動を続けるために、日頃から体を動かすことを心がけ、その日の体調に合わせた運動を取り入れることが大切であると教えていただきました。

体操では、膝や股関節を中心に、日常の動作を取り入れた体操を5つ紹介していただき、参加者は和やかな雰囲気の中で体を動かしました。

参加者の皆さんからは、「体が軽くなった」「毎日できそう」等の感想もあり、元気にボランティア活動を続けるためのヒントを学ばれました。



なんでも相談会in うだ

活動報告 4



11月24日（月/祝）、榛原サンクシティ2階のうだ健幸プラザで、「なんでも相談会 in うだ」が開催されました。「なんでも相談会」とは、弁護士、司法書士、社会福祉士、医療・介護職など、さまざまな専門職がチームとなり、複雑化した生活上の困りごとを多角的に整理し、住民の皆さんと一緒に解決の方向を考えていく取り組みです。

宇陀市では初めての開催でしたが、市内・市外から76名の専門職にご参加いただき、相談件数は22件にのぼりました。相談会当日は、専門職が連携しながら丁寧に話を伺い、相談者の不安に寄り添う姿が見られました。また、1階テラスでは、暮らしの保健室、オレンジカフェも開催され、多くの方に来ていただきました。

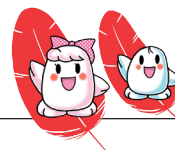
会場は終始、温かさや熱気に包まれ、「安心して相談できた」「いろんな専門職と一緒に考えてくれて心強かった」といった声も寄せられました。



赤い羽根共同募金 重点助成分野特別助成先決定

昨年9月に、これまでの事業を拡大して福祉課題に取り組み、活動を展開する団体や、新しく地域福祉の問題解決や福祉のまちづくりを推進していく団体等に募集したところ、5団体から応募があり、宇陀市共同募金委員会審査会での審査の結果、下記のとおり助成先が決まりました。

助 成 先 一 覧



赤瀬にここクラブ

ヨガ療法士の先生を招き、健康運動やヨガをしながら、年齢・性別関係なく、地域の誰もが参加できる場を提供します。

宇陀市聴覚障害者協会

聴覚障害者の生活や制度について理解を深める講座や研修会を、より分かりやすく実施するためにスクリーンとプロジェクターを購入します。

特定非営利活動法人 うだ夢創の里

参加者へのチラシ配布や、ボランティアスタッフ間での安全共有資料の作成のためにプリンターを購入します。

東和合同災害ボランティアセンター設置運営訓練

大規模災害発生時に、災害ボランティアセンターの設置・運営を円滑に行えるように、講師を招き、訓練を行います。奈良県社協・桜井市社協と合同で訓練をすることで、広域での連携体制の強化を図ります。

なんでも相談会 in うだ

複雑・多様化する生活上の困りごとに対して、弁護士、司法書士、社会福祉士、医師等、複数の専門職が連携し、ワンストップで無料相談に応じます。



赤い羽根自販機で社会貢献活動をはじめませんか

奈良県共同募金会では、募金運動推進のため「赤い羽根自販機(赤い羽根募金協力型自動販売機)」の設置を進めています。この自販機は、売上の一部が赤い羽根共同募金として寄付され、設置地域の共同募金委員会を通じて地域の福祉活動に役立てられます。

新たに1台設置していただきました！

気軽にできる社会貢献活動

自販機の管理や補充などは飲料メーカーが行うため、設置者の手間はかかりません。

取扱商品や条件が選べます

寄付専用ボタン付きや防犯カメラ搭載、災害時に商品を取り出せるタイプなども選べます。

設置・置き換えは無料

設置や入れ替えはすべて無料。電気工事メーカーが行うため、設置者の負担は電気代と設置場所の提供だけです。



宇陀市中央公民館

(現在、宇陀市内では13台設置されてます。)

詳しくは、奈良県共同募金会(☎0744-29-0173)にお問い合わせください。



赤い羽根共同募金

中間報告

昨年の10月1日から全国一斉に赤い羽根共同募金運動が行われました。

宇陀市では10月1日に近鉄榛原駅前で共同募金セレモニーを行い、その後各地域で募金活動を行いました。

セレモニーでは、宇陀市長、宇陀市議会議長、宇陀市連合自治会、宇陀市民生・児童委員連合会、宇陀市ボランティア連絡協議会、奈良県立宇陀高等学校の生徒の皆様にご協力をいただきました。

また各地域では、民生・児童委員、自治会員のご協力と住民の皆様のご理解により、下記のとおり多くのご協力をいただきました。

お寄せいただきました募金は、地域の身近な福祉活動に役立たせていただきます。

共同募金にご協力を賜りました多くの皆様方に心よりお礼申し上げます。



【11月末日現在の募金額】 2,753,755 円

< 内訳 >

戸別募金	1,200,920円
街頭募金	126,393円
法人(事業所)募金	1,107,500円

職域募金	229,430円
イベント募金	66,600円
その他の募金	22,912円

【 大 宇 陀 】



「コメリ」



「もりかわ」

【 榛 原 】



「榛原駅」



「うだ産フェスタ」

【 菟 田 野 】



「菟田野小学校体育大会」



【 室 生 】



「室生寺」



「こもれび広場」

奈良県共同募金会宇陀市共同募金委員会（宇陀市社会福祉協議会）

☎ 0745-84-4116 / IP☎ 0745-88-9202

相談日のお知らせ

弁護士による福祉専門相談

【要予約 先着2件】

■日時 1月 7日(水)
2月 16日(月)
午前10時～正午まで

精神科医による専門相談

【要予約 先着2件】

■日時 1月 21日(水)
2月 18日(水)
午後2時～午後4時まで

場 所・申込先

宇陀市社会福祉協議会 権利擁護センター ほっとサポートうだ
(宇陀市榛原下井足49番地の1 榛原サンクシティ2階 うだ健幸プラザ)
☎ 0745-82-2100 (代表)

※弁護士・精神科医の相談日時と場所は、変更する場合があります。



リサイクル情報

★申し込みは、宇陀市社会福祉協議会までご連絡ください。

☎0745-84-4116 IP☎0745-88-9202

宇陀市社会福祉協議会では『もったいない』そんな心を大切に、家庭にある不要品を譲りたい人、求める人の仲介を行っています。ただし、家電製品は取り扱っておりません。譲っていただく品物は、希望者が現れるまでご自宅で保管していただきます。希望者が現れるまでに処分されましたら、宇陀市社会福祉協議会までご連絡ください。

譲ります

- 学習机
- ひな人形
- 通学用カバン
- シルバーカー
- ランドセル(ピンク)
- サイクリング自転車24インチ(ピンクベース) 黒・紺・赤(新品、背負って使用できる、縦30cm×横50cm)
- アルミ製蒸し器角形2段

譲ってください

- 大人用自転車
- 刈り込みばさみ
- 大人用掛布団(シングル)

善 意 銀 行

宇陀市善意銀行に次の方から預託いただきました。
厚く御礼申し上げます。(10/1～11/30受付分)

- ◆匿名 85円切手×200枚(絵手紙用として)
- ◆あかね台秋祭り 9,810円
- ◆第17回宇陀市農林産物品評会 33,800円

社会福祉法人 宇陀市社会福祉協議会

〒633-2221 奈良県宇陀市菟田野松井486番地1
(菟田野地域事務所内3F)

部 署	電話番号	I P 電話	FAX番号
総務福祉課	0745 84-4116	0745 88-9202	0745 84-3600

宇陀市社会福祉協議会ホームページ
<http://www.udashi-shakyo.jp/>



～ほっとひといき～

初春のお慶びを申し上げます。
今年は丙午。十干の「丙」と十二支の「午」が組み合わさったもので、60年に一度巡ってきます(還暦)。
過去には「八百屋お七」の迷信などにより、「産み控え」がありましたが、根拠のない迷信にはとらわれない事が大切ですね。
「丙」も「午」も火の力を象徴しているようで、輝ける太陽の様に、まわりを温め、生命を育む明るい一年となるよう心から願っています。(広報編集委員 中井 陽子)